

岩槻新校準備委員会（第4回） 議事録

- 1 日 時 令和6年5月29日（水） 午前10時00分開会
午前11時30分終了
- 2 会 場 県立岩槻高等学校会議室
- 3 出席委員 依田委員長、深井副委員長、長谷川副委員長、細沼委員、石井委員、
田中委員、渋谷委員、亀井委員、三俣委員、手島委員、真中委員、
廣川委員
- 4 事務局 魅力ある高校づくり課 出井、渋谷、坂本、高辻、小川
- 5 協 議 新校の校名検討について
依田委員長 それでは次第3、協議に入ります。それでは「【資料1】校名検討の流れ」について、事務局から説明をお願いします。
事務局 （「【資料1】校名検討の流れ」について説明）
依田委員長 ただ今、「【資料1】校名検討の流れ」について事務局から説明をしていただきましたけれども、これについて、委員の皆様、御質問、御意見ございましたらよろしくをお願いします。よろしいでしょうか。ここは流れだけですので、詳細については、資料2、資料3のところでお意見をいただければと思います。引き続き議事を進めてまいりたいと思います。では資料2と資料3について事務局の方から説明をお願いします。
事務局 （「【資料2】校名アイデア募集の概要（案）」及び「【資料3】校名アイデア募集案内（案）」について説明）
依田委員長 資料2と資料3について事務局から説明がありました。少し細かく委員の皆様のお意見を伺ってまいりたいと思います。まず、資料2、資料3全体を通して何かございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、私の方で一つ一つ区切って、事務局の説明を補足しながら、御意見を伺ってまいりたいと思います。それでは資料2の上から順にまいりたいと思います。まずは、「1 趣旨」と「2 募集期間」ですが、特に「2 募集期間」について、何か御意見はございますでしょうか。よろしければ、これで決定したいと思います。次に「3 応募要件」について、「4 応募方法」との絡みもありますが、どこからでも誰でも何度でも応募ができるという形です。ファックスや郵送も可となっておりますが、インターネットによる募集をさせていただこうと考えております。このことについて、御意見、御質問等がございますでしょうか。はい、ありがとうございます。それではこのことについても、特に応募要件は設定せずに、募集をさせていただこうと思います。それでは「4 応募方法」と「5 周知方法」について、埼玉県電子申請届出サービスというものがありますが、教育委員会魅力ある高校づくり課のホ

ホームページから応募できるようにしたいと事務局は考えております。その他、資料3にある応募用紙ですね、こちらを用いて郵送やファックス等でも応募ができるようにします。周知方法としては、様々な媒体、SNS、ホームページをはじめ、各自治体にも御協力をお願いしたいと考えておりますが、何か御質問等はございますでしょうか。ありがとうございます。では、この点についても事務局の案で進めてまいりたいと思います。「6 その他」の部分でございます。ここは皆様の御意見を伺いながら進めていきたいと思うのですが、まず校名のアイデアというところからです。先ほど事務局の方から説明がありましたが、資料3の裏面ですね、こちらが一つのイメージとなってくるのですが、校名アイデアについては、3案まで御応募いただける形となっております。アイデアについては、「県立〇〇高等学校」というように具体的な校名を応募いただいてもかまいませんし、「「緑」という言葉を校名に入れてほしい」といったものも受け付けている、ということだと思います。理由も併せて御記入いただき、お名前と居住地も御記入いただくこととしております。さらにお名前の脇には、統合する2校に在籍する生徒にチェックいただく欄も設けております。「6 その他」の1行目ですが、「新校準備委員会において、校名案候補（複数案）を選定」について説明させていただきます。この準備委員会でこれから委員の皆様にご意見をすることになりますが、まず、ここまで御確認いただいた1～5の形で校名アイデア募集を行います。アイデアが集まってきたら、次回の準備委員会でそれらをお示しします。委員の皆様には、アイデアを参考にさせていただいて、複数の校名案をつくっていただこうと考えております。なぜ複数案なのかという疑問もあるかと存じますが、校名は条例で定められており、条例は埼玉県議会で議決されることで決定となります。議会に条例を提案する権限を持っているのは埼玉県知事ということになりますので、私たち教育委員会では、皆様方につくっていただいた校名案を、教育委員会として知事に提示をさせていただこうと考えております。その上で知事が校名案を議会に提案することになるのですが、知事がそこで校名案を決定することになるので、教育委員会としては、これしかない、ということではなく、複数案を知事に選んでいただく形をとりたいと思っています。そこに優先順位を付けるか付けないかは改めて準備委員会で意見をいただこうと考えておりますが、いずれにしても、この準備委員会で校名案候補をつくっていただいて、教育委員会が案としてそれらを知事に提示して、知事がその中から選定して議会に提案する、という流れを考えております。説明が長くなりましたので、一旦ここで皆様から御意見、御質問をいただければと思います。いかがでしょうか。

細沼委員 事務局から御説明いただいた応募用紙の案について、私の認識不足なのかもしれませんが、具体的な校名案だけではなくて、「「緑」という言葉を入れてほしい」といったアイデアもいただきたいというお話だったかと思うのですが、この応募用紙を見る限りだと、ほとんどの方が具体的な校名を応募してくるのではと感じました。キャッチフレーズや単語を入れてほしいといったアイデアも募集していることが分かるような工夫が必要ではないかと思います。

依田委員長 ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。資料3についてはイメージとして提示させていただ

いており、いろいろな御意見をいただきながら、完成させていきたいと考えております。御提案いただいた例示については、準備委員会での検討の参考となるアイデアをいただけるよう、工夫してまいりたいと思います。

依田委員長 細沼委員、よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。

田中委員 これまでも統合によって新しく学校が設置される場合に、校名の検討を行ってきたと思います。その際、どれくらいの候補があったのか、スムーズに決まったのかが分からないのですが、大学でも新しい施設をつくった場合にその名前を決めるというところで、結構、議論になります。そもそもどうやって決めるのか、というところで議論になったこともありましたので、今回、たくさん応募があったとして、それ自体は良い事なのですが、果たして決まるのか、どうやって決めるのか。また、少し先の話になりますが、「校名アイデア募集の結果は校名決定後に公表する」とありますが、どの程度公表するのでしょうか。1行目の話題とは少し逸れてしましますが、よろしく願います。

依田委員長 ありがとうございます。最後の公表のところは別途、お答えしたいとお思います。まず、これまでの検討状況について教えていただけますか。

事務局 御意見ありがとうございます。非常に重要な御意見と考えております。これまでの検討状況についてですが、第1期の再編整備では児玉新校と飯能新校で同様に校名アイデア募集を行っており、児玉新校では413件、飯能新校では586件の応募がありました。それ以前の結果については、本日詳細なデータを持ち合わせていないのですが、やはり同程度の結果だったと認識しております。校名案候補を決定するところでも、今回お示した案と同様に、アイデア自体を選定するのではなく、アイデアを踏まえて校名案候補をつくっていただくこともありました。決め方の詳細については、次回以降の委員会でお示したいと考えております。また、これは後ほど御提案させていただこうと思っていたのですが、実は次回以降の委員会を非公開とすることを提案させていただこうと考えております。校名に関しては、委員以外の方からも様々な意見が出るのが予想されます。今回は校名アイデア募集を行った上で、準備委員会の場で校名案候補を選定していく流れになります。準備委員の皆様集中して御議論いただくためにも、非公開とさせていただきたいと考えております。私は前任が幸手桜高校の校長なのですが、幸手桜高校も再編整備により統合した学校です。校名の決定については、やはり複数の校名案候補があったのですが、最終的に幸手桜になりました。その際にも、多くの議論があったと伺っております。繰り返しになりますが、準備委員会で活発な議論を行うためにも、次回の委員会は非公開とさせていただきたいと考えております。応募数ではなく、あくまでこの準備委員会の中で校名案候補を絞り込んでいく形をとりたいと思っています。

依田委員長 はい、よろしいでしょうか。他に何か御意見がありますか。

渋谷委員 そのままの話で恐縮ですが、校名アイデア募集のアイデアという表現が適切なのかどうか、疑問があります。高校名と、高校名に含めたい文字を募集したいということについて、我々は説明を受けているので良く分かるのですが、この応募用紙を見て果たして伝わるでしょうか。例えば、記載する欄を分けてみるとか、説

明いただいた内容を応募用紙に記載しておくのも良いのかもしれませんが、これまでアイデアという表現を使用していたのだと思いますが、もう少し表現を明確にした方がよろしいのかなと感じました。表現を改善する余地があるのか、募集案内に追記はできるのか、このあたりについて伺いたいと思います。

依田委員長 なぜ校名案ではなく校名アイデアなのか、ということですよ。事務局いかがですか。

事務局 まず、応募用紙については、資料にイメージと記載させていただいており、委員会での御意見を踏まえながら、これから検討してまいりたいと考えております。校名アイデアという表現についてですが、仮に二人の方が同じ校名案を応募してきたとしても、その案に込めた思いはそれぞれ異なると考えています。また、具体的な校名までは思い浮かばないけれど、こういった学校になってほしいという思いを持った方もいらっしゃるのではないかと考えております。そういったことも考慮し、校名アイデアという表現を用いております。

依田委員長 渋谷委員がおっしゃった、校名案だけでなくアイデアを書いてもかまいません、といった表記の仕方についてはいかがですか。

事務局 他の委員会でも、例を示した方が良いのではないかという御意見をいただいているところですので、それらの意見を踏まえた上で、できれば6校統一した形で、上手く反映できればと考えております。

依田委員長 どうしても統一する必要はないですよ。

事務局 そのとおりです。いただいた御意見も踏まえて学校ごとの違いも考慮したいと考えております。

依田委員長 渋谷委員よろしいでしょうか。はい、その他いかがですか。石井委員お願いします。

石井委員 確認したいことが二つあります。一つ目が、校名のアイデアということなのですが、高校の名称ですと、通称で呼んでいるところもあるかと思います。例えば浦和第一女子高校であれば「一女」とか、大宮国際中等教育学校であれば、我々は「MOIS」と呼んでいます。学校の前の通りが「MOIS通り」となっていたりするなど、地域の方からすると通称の方がしっくりくることもあるのかなと感じています。例えば校名アイデア募集の中で、通称のような部分も入れられるようなアイデアがあると良いのかなと感じています。もう一つは、例えば岩槻新校のアイデアを応募する方に対して、新校はこういう学校ですよ、ということが分かるようなウェブサイトであるとか、資料を掲載する予定があるのかを伺いたいと思います。

依田委員長 事務局お願いします。

事務局 通称もアイデアと考えており、地域ではこういう名称で親しまれている、といった御意見も参考にできればと考えております。ただ通称まで決める会議ではなく、基となる校名が決定しなければ通称も検討できませんので、まずはアイデアとしていただければと思っています。学校のことが分かる記載については、ウェブサイト等にも掲載しておりますが、今回の募集では、それに加えて新校のキャッチフレーズを検討しております。学校と意見交換をしながら作成しており、最終的には資料としてお示ししている募集案内に記載したいと思っています。このキャッチフ

レーズによって、新校のイメージを持ってもらえたらと考えております。

依田委員長 通称については、通称でもかまいませんという表記をどこかに加えるということですか。

事務局 通称も含めてしまうと回答の範囲が広がりすぎてしまうので、今のところは、追加は考えておりません。もちろんいただいたアイデアは検討の参考としたいと思っています。アイデアの記入例に、例示として記載するかどうかは検討できると思います。

依田委員長 例示として記載するか検討するということですね。

事務局 そのとおりです。

依田委員長 石井委員いかがですか。よろしいでしょうか。その他いかがですか。

手島委員 「6 その他」の1行目の複数案選定については、説明を聞いてよく分かりました。私が聞き漏らしてしまったのかもしれないのですが、資料3の募集案内を使った実施はまだないということでしょうか。今回が初めてということ。

事務局 基本的には、募集に際して毎回このような募集案内を用意させていただいております。今回の募集案内の作成に当たっては、最大三つまで案を書けるようにしていたり、統合する2校に在籍している生徒のチェック欄を設けたりする等の工夫はしております。

手島委員 募集形式としては以前からあるけれども、募集の中身は初めての部分もあるということでしょうか。

事務局 そのとおりです。

手島委員 これまでの状況について、400とか500とか集まったというお話がありましたけれども、それら全てのアイデアが一覧として次の委員会に提示されるのか、それともある程度フィルターにかけられたものが提示されるのか、そのあたりはいかがでしょうか。

依田委員長 今、手島委員からの御質問がありましたので、ここで、「6 その他」の1行目だけではなく、2行目の記載も含めてお話をさせていただきます。今、2回目の準備委員会にどのような形でアイデアを提示するのかというお話がありましたけれども、2行目に校名案候補の検討に当たり応募数は考慮しない、と記載しています。事務局の説明の中にも投票ではない、といった話がありましたが、ここで委員の皆様にお伺いしたいのですが、例えば500の応募があったとして、そのうち「〇〇高校」は何票、「△△高校」は何票、という形でお示しするのではなくて、あくまで「〇〇高校」や「△△高校」といった応募があったことと、その理由について提示させていただこうというのが、事務局の考え方です。そのような考え方を示したものが2行目の記載です。このことについて、御意見があれば伺いたいと思います。先ほどの手島委員の質問と併せて、事務局から説明いただこうと思いますので。亀井委員、お願いします。

亀井委員 私としては、この校名に何票集まりました、というような情報は一切出さない方がよいのかなと思っています。何年か前でしたでしょうか、全国的なニュースにもなったかと思いますが、校名案を募集した際に、投票数の多い案では

なく別の案に決定した事例があったかと思います。地域の中学校としては、新校に通う生徒にはプライドを持って通ってもらいたいという思いがありますので、言葉は少し乱暴かもしれませんが、校名を決めるところでケチがついてしまうと、すごく残念な気がします。ですので、そのような状況をつくってしまうかもしれない要因は排除して、あくまで案をいただきました、その中から選定しました、という方向性で進めていただけると良いと思います。小・中学校にも広報するということができたが、本校も近隣にある学校で、新校に通うことになる生徒も出てくると思いますので、可能であれば、自分たちでアイデアを出してみようよ、といった形で全校生徒に応募してもらいたい、という思いもあります。地域の学校として大切なスタートがしっかり切れると良いと思います。

依田委員長 ありがとうございます。御意見として承ります。他の方はいかがでしょうか。では、先ほどの手島委員の質問について、改めて事務局から説明をお願いします。

事務局 はい、先ほど御質問いただいた、応募されたアイデアを全て提示するのか、という点について御説明いたします。これにつきましては、全て提示したいと考えております。一つ一つのアイデアには重みがあると感じており、中には意図が読み取れないようなものも出てくるかもしれませんが、基本的には全てお示ししたいと思っています。次に提示の仕方についてですが、似たアイデアを一つにまとめる、といったことは行う予定ですが、アイデアの理由については、全てお示ししたいと考えております。先ほどの説明でも申し上げましたが、応募いただいたアイデアは、しっかりこの委員会の場に届けなければならないと考えております。ただ、実際にどれくらいの応募があるのか読めないところがあります。募集結果をどのような形で準備委員会に提示するのかについては、事務局に一任していただければと考えております。なお、補足ですが、先ほど応募用紙に統合する2校に在籍している生徒のチェック欄を設けていると説明いたしましたが、在籍生徒からのアイデアは、別資料として一般のアイデアとは分けて提示させていただこうと考えております。

依田委員長 統合する2校に在籍している生徒からのアイデアだと分かるように御提示いただけるということですか。

事務局 そのとおりです。

手島委員 同窓生のチェック欄はないのでしょうか。

事務局 結論から申し上げますと、設けることは考えておりません。このチェック欄は、在校生徒のアイデアを集約したいという思いから設けたものでして、同窓生は直近の卒業生から御高齢の方まで年齢層が幅広く人数も非常に多くなってしまうため、一般のアイデアとしてまとめさせていただこうと考えております。

依田委員長 手島委員、よろしいでしょうか。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。それでは「6 その他」の4行目に移ります。ここには「募集の結果は校名決定後に公表する」とありますが、校名決定後に公表するのは、応募数も含めてということでしょうか。

事務局 そのように考えております。

依田委員長 こちらは先ほどの亀井委員の御意見にも関わるかと思いますが、校名決

定後には数を公表するという点について、亀井委員はいかがでしょう。

亀井委員 それは、このアイデアに何票ということまで公表するという点でしょうか。例えば、応募数はこちらのアイデアの方が多かったのに、なぜ知事は別の案を選んだのか、といったような変な形で取り上げられなければ良いなという思いはあります。

依田委員長 そこは教育委員会として憂慮しなければならないと思っています。事務局はいかがですか。

事務局 今、亀井委員からいただいた御意見は非常に重要であり、皆様からの御意見を踏まえながら考えてまいりたいと思います。公表の仕方については現時点ではこのような形で進めてまいりたいと考えておりますが、引き続き検討してまいりたいと存じます。

依田委員長 公表は県議会の議決後ですよ。

事務局 そのように考えております。

依田委員長 校名案自体は県議会に提案した段階でマスコミにも公表されますが、その段階ではまだ公表はしていないということですよ。分かりました。我々準備委員には、どのタイミングで教えていただけますか。

事務局 公表の事前のタイミングでお示ししたいと考えております。現時点で、いつ、というところまでお示しできないのですが、その辺りは事務局にお任せいただければと思います。

依田委員長 それでは全体を通して、何かありますでしょうか。

真中委員 一つお伺いしたいのですが、参考資料3にこれまで統合した学校の校名一覧がありますが、直近の令和5年4月に開校した児玉高校と飯能高校については、統合前の校名がそのまま使われているかと思えます。そうすると、岩槻新校も岩槻高校となる可能性が十分にあるのかなと感じているのですが、これらの校名になった経緯について、簡単に御説明いただければと思います。

依田委員長 事務局お願いします。

事務局 検討の流れについては、今回お示したものと概ね同じです。たまたま両校とも統合前の校名となっておりますが、知事が複数の候補の中から校名案を選び、議会に提案しております。校名案候補の選定に当たっても、準備委員会で多くの議論が交わされたとお伺っております。

依田委員長 補足ですが、児玉高校については、実は児玉白楊高校の場所に新校を設置しており、その名称が児玉高校になった、という経緯があります。ですので、校名は変更しているんですね。

真中委員 ありがとうございます。分かりました。

依田委員長 その他、全体を通していかがでしょうか。手島委員、お願いします。

手島委員 「【資料1】校名検討の流れ」について、条例に関する議案が2月または6月となっております。新校の開校に向けた予算措置が必要になってくるかと思いますが、令和7年度当初予算で上げるなら2月に、6月だと補正予算という形になるかと思えます。学校設置条例の改正に関する議案については、予算措置を要する議案だと思うのですが、予算措置のタイミングはどのようにお考えでしょうか。

依田委員長 私がお答えした方がよろしいかと思えます。新校に係る予算措置については、毎年度措置しております。岩槻新校の開設準備予算として議会の議決を得ておりますので、校名と予算は連動しておりません。設置条例については、校名をどうするか、という点だけになります。手島委員が御心配なさっているのは、校名が決定しないと、諸々の準備が進まないのでは、ということだと思います。

手島委員 校名が決まれば、いろいろと支出が伴うのではないかと思うのですが。

依田委員長 そういうことですね。支出の方は、例えば学校の入り口にある銘板を新しくする等、校名変更を前提として予算措置をお願いしていくことになります。2月か6月となっておりますが、私たちとしては、2月に決定した方が、その後の事務が進めやすいと考えているのですが、これまでは大体6月に決定しています。県では7月に県立高校全体の募集人員を公表しておりますが、そこに合わせるとなると、6月のタイミングがギリギリとなります。できれば早めに校名を決定し、中学生に広報ができると良いと考えておりますが、これについては、皆様の御協力をいただきながら、教育委員会として2月の提案を目指してがんばっていくしかないと思っています。他にいかがでしょうか。

細沼委員 1点だけよろしいでしょうか。周知方法にあるこの募集案内等についてはいつ頃までに策定される予定なのでしょう。

事務局 6月14日に教育長の記者会見がありますので、そこと同時と考えております。

細沼委員 では、その日に小学校や中学校に募集案内が配付されたりするのでしょうか。

事務局 そのように考えております。

依田委員長 その他いかがですか。よろしいでしょうか。それでは、議事は以上となります。1点、議事を進める中で、事務局から次回の委員会を非公開としたいという話がありました。このことについて、事務局から再度説明いただけますか。

事務局 はい、次回の委員会について、皆様の御同意が得られれば、非公開とさせていただきますと考えております。本来であれば委員会の当日にお諮りいただくところなのですが、傍聴者への配慮も考え、この場で決定いただき、傍聴希望者に非公開の旨を事前にお知らせできればと考えております。非公開とする理由については、先ほど申し上げたとおりです。

依田委員長 それでは、非公開について議決を採りたいと思うのですが、非公開となりますと誰にも会議の中身を話すことができなくなります。議事録も作成はしますが、公表はしないということになります。そのことを前提に事務局からの提案について御同意いただけますでしょうか。まずは、御意見、御質問があればお願いします。はい、細沼委員、どうぞ。

細沼委員 非公開自体には反対はしないのですが、非公開とする理由については、恐らく自由闊達な議論ができなくなるから、ということかと思えますが、その部分は委員全員で共通認識が持てると良いと思いますので、御検討いただければと思います。

依田委員長 必要なことだと思います。事務局の方で提案理由について、御説明いた

だけますか。

事務局 ありがとうございます。細沼委員がおっしゃるように、公平公正な議論を行っていただくためでございます。候補案を絞り込んでいく過程において途中経過が外に出て一人歩きしてしまうことで、皆様の議論の妨げとなってしまうことを危惧しております。

依田委員長 今、説明がありましたが、事務局としては決定過程であるから非公開にしたいということですかね。応募アイデアについて審議する会議は非公開としたいということと、公開することで、委員の皆様の自由な議論を妨げてしまう恐れがある、その2点ということですか。

事務局 そのとおりです。

依田委員長 分かりました。他にいかがでしょうか。それでは、次回の委員会を非公開とすることについて、御異議はありますか。御異議ないようですので、次回の委員会は非公開とさせていただきます。その旨はホームページにも明記をお願いします。ありがとうございました。本日の議事を終了します。